

金平遺跡(比企郡嵐山町)

かなひら

この正面前方の斜面一帯が金平遺跡とされるであろうか



金平遺跡は鎌倉時代後半の鋳物工場跡、そこで鋳造を行った職人たちの集落跡及び墓域と思われる遺構が検出されているという。ここで製作された鋳物は梵鐘などの仏具が中心で、近くの平澤寺に供給されていたものとされる。遺跡の東側には鎌倉街道上道の推定ラインがあることから物資の調達にも適することや遺跡地は溶解炉や鋳型の製造に必要な粘土が採取できたことなど鋳造に適した場所であったことがこの場所に金平遺跡が展開された大きな要因とされる。この右手一帯がその鋳物工場跡辺りであろうか。



この辺りは鋳物工場跡とされる



振り返って見た所も含まれるかもしれない



斜面を下って周辺を見る



今はこんな風景である



さて、ここは斜面を折り切って見上げたところ/正面の木々の辺りが集落跡とされ、その更に向こうが鋳物工場跡となる



鋳物工場跡の南側に位置する集落跡付近





今はこんな風景である



反対側から見る



参考ホームページ

<http://hva34.sakura.ne.jp/hikigunn/knahiraiseki/kanahiraiseki.html>

http://www.ranhaku.com/web04/c2/1_03.html

http://www.ranhaku.com/web05/c3/1_02igata.html

http://michis27.main.jp/ranzan_folder/ranzan-sugava-S03.html



← 金平遺跡エリア

↑
平澤寺